

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年6月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4677200117
法人名	社会福祉法人 福寿会
事業所名	グループホーム るーびんのさと〈東申良〉
所在地	鹿児島県肝属郡東申良町池之原2087番地2 (電話) 0994-63-0737
自己評価作成日	令和3年3月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年5月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気を中心掛け、ご自分のペースで過ごしていただいています。夏場はグリーンカーテン・畑にサツマイモ等を栽培し、水やりや収穫を一緒に行い、採れた野菜でおやつを作り提供しています。週に1回リクエストにお応えして利用者様と協同で調理を行い、また午前・午後とレクリエーションを行いながらコミュニケーションの充実を図っています。

- ・当事業所は田畑が広がる静かな集落に立地し、運営母体の特別養護老人ホームに隣接して建てられている。新型コロナウイルス感染症予防のため、法人内の交流やイベントは制限されているが、法人で研修や各委員会が開催されており、各事業所間の連携・協力体制が構築されている。
- ・これまで取り組んで来た家族との遠足や行事の実施は困難な状況であるが、家族に利用者の状況を直接確認して安心してもらえるよう、大隅地区のコロナ感染状況が落ち着いていた3月に家族の試食会と居室での面会を実施する等、家族との関係継続の支援に努めている。
- ・管理者は、「コミュニケーション10か条」を作り、職員が遠慮なく意見を言える雰囲気作りと意見を業務改善等に反映できるように努めている。法人では、職場内環境改善委員会を設け、福利厚生の実施及び時短等の一人ひとりに合わせた勤務形態の実施等、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り時に理念の復唱を行い、職員への意識付けしている。	理念を毎朝唱和し見直しについても検討している。毎月部署会議でケアを振り返り理念に沿ったケアを実践しているかの確認をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染症予防対策の為交流できていない。 本来なら、老人クラブの慰問やボランティアを受け入れ地域住民との交流の場を提供している。	コロナ感染防止の為、地域行事や老人会のボランティアの受け入れ、子供会との交流会等を自粛している。終息した時には以前のように活発な活動を再開したいと計画している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	前年度は、東串良町包括地域センターと協力し、当事業所内でオレンジカフェを行った。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	リモート会議を開催し書面報告等行った。行政関係者・地域住民（民生委員）・ご家族を踏まえ活動報告を行っている。	2ヶ月に1回の会議を書面またはリモート会議で実施し、事業所の状況報告等を行っている。今後、行政と開催方法を相談する予定であり、委員の意見等の把握方法として返信用の書類を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議等で相談したり、窓口に出向いたり電話での相談を行っている。</p>	<p>町担当者とは、電話や出向いての相談・報告で連携を図っており、運営推進会議も相談しながら開催している。グループホーム協議会のズーム研修に参加し、情報収集に努めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>同一法人内で身体拘束廃止研修会を実施し取り組んでいる。施設内の施錠は夜間のみとしている。</p>	<p>月に1回、法人での「身体拘束廃止委員会」にホームの代表が参加し、処遇会議や部署会議で勉強会を実施している。年間計画での研修会でも、禁止対象となる具体的な行為や言葉の拘束・施錠を含め、拘束のないケアに取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>同一法人内の研修等で知識を得て防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>同一法人内の研修等で知識を得て防止に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時に契約書・重要事項証明書を取り交わし対応している。また必要に応じて説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者・ご家族からの意見・要望があれば部署内で検討し、課題解決に向けて話し合いを行い実行している。</p>	<p>利用者には、日頃の会話の中で意見等を聞いている。家族には、来訪時や電話で要望等を聞いたり、法人でアンケートを実施している。ホームで作った作品を写真にとり、便りに掲載し、そのことから話しをしている。面会に関する問い合わせ等があり、要望や意見が出された時点で対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>会議等において意見を聞き、部署会議や面談を通じて改善などの検討を実施している。</p>	<p>会議等で出された提案は、1週間の試行後に部署会議で検討し、継続の可否を決定している。利用者の状況変化に応じた勤務時間調整等に反映している。個別相談は、常時行い年3回の個別面談も実施している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人事考課制度を確立し、目標設定やそれに向けての取り組みや処遇改善を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修（防火・災害対策・認知症ケアなど）に参加し、スキルアップを図っている。また、部署内での学習を兼ねての勉強会も行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内グループホームと合同で部署会議を開催し情報を共有している。研修会に参加時他事業所の職員と意見交換など行って情報共有を図っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の情報をもとに、ご本人・ご家族の意向調査を実施している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様へ入所前にサービスについての説明を行い、要望等取り入れ対応するよう心掛けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入所時において、ご家族様からの要望や意見を取り入れるようにしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>施設内行事参加や花を飾ったりして会話を提供し、季節感を感じていただきながら、利用者様同士で関わりを持てるよう支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症により外出等出来なかったが、電話で話されたり窓越し面会ができるように配慮した。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>自宅への外出や墓参り等の支援をしている。</p>	<p>コロナの感染者状況を見ながら窓越しや予約制での家族との面会・電話での交流を支援し、広報誌送付等での近況報告等で関係が途切れないよう努めている。3月に家族の短時間の面会を実施している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>グループワークを中心に活動し、お互いが尊重し合える関係性を構築するよう努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>利用者様の状況に応じて関係機関と連携を図り対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常のケアの中で言葉や表情等から本人の意向を把握するように努めている。自ら意見を伝えられる方へは意向調査を行い対応し、意向の把握が困難な時には家族との対話も行い協議を行っている。	日常の会話等から本人の思いを把握するように努めている。食べ物に対する要望が多い。「ラーメンを食べたい」「ビールを飲みたい」とか希望で寿司を作ることもあり、思いに沿って支援している。思いを表出できない場合は、家族の意見を参考にしたり、表情・仕草等から本人の意向を汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の情報提供をもとに利用者様とのコミュニケーションで情報を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送り時を活用し、利用者様の情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1ヶ月に1回はスタッフ間の意見交換、ケアの見直しを行っている。ご家族や関係職種に集まっていたいただき、6ヶ月毎会議を行っている。主治医より病状説明やこれからの病状の変化等随時家族に報告を行っている。	本人や家族からの要望を聞き、担当者会議で話し合い介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に、6ヶ月毎に家族・看護師等の関係者・職員で会議を実施し、介護計画の見直しを行っている。状況変化時も現状に即した介護計画の見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	健康チェック表・ケアチェック表を活用し、情報共有を図り計画の見直しに活用している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	ドライブなど外出支援を行い対応している。また、希望があれば宿泊も可能である。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	面会や外出支援を行いながら対応している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入所時は、かかりつけ医への変更を依頼している。専門医については入所後も継続し対応している。	契約時に協力医にかかりつけ医を変更するよう依頼し、同意を得ている。かかりつけ医による月2回の往診と緊急時を含めた24時間医療連携体制を築いている。他科受診は主に職員が対応し、家族に結果を報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>総敷地内にあるユニット看護職員の訪問看護により対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は医療相談員と連携を図り情報共有に努めている。また、入院時には面会も行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期における対応については、医師をはじめ関係職種で対応しご家族様への説明を行っている。利用者様の状態に応じて同敷地内にある特養・ユニットへの移動の説明も行っている。</p>	<p>契約時に、重度化等の場合の対応について説明している。段階的に選択肢の説明を実施し、家族の意向を確認している。看取り介護は利用者の状況と家族の希望により対応している。看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員は初級救急救命講習を受講し、スキルアップに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災訓練については、昼間・夜間想定で実施している。</p>	<p>昼夜想定避難訓練を年2回実施しており、コロナ感染防止の為、消防署の立ち会いはなく、法人の防火管理者を中心に実施している。3年に1回、町と法人協働で避難訓練を実施する際は、地域の消防団員・地域協力隊の参加協力がある。消火設備は業者が点検している。非常用の備蓄は、3日分の水や米・缶詰・乾めん等の食料及びカセットコンロを確保している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>個人の尊厳を守るために言葉遣い・声掛けに十分配慮し対応している。</p> <p>コミュニケーション10か条を毎朝復唱し意識づけしている。</p>	<p>コミュニケーション10か条を毎朝唱和し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に取り組んでいる。さん付けでの呼びかけや節度ある言葉遣いに努めている。ホールでの申し送り時は利用者の名前を出さずに、プライバシーを確保している。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>利用者様が自己決定できるような雰囲気作りを行い対応している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様本位で対応し、就寝時間も利用者様自身で決めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>利用者様の希望する衣類を準備し更衣を行っている。また、夜間は寝間着に着替え就寝している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様のリクエストメニューにお応えしたり、週に1回は季節の野菜を取り入れたメニューを利用者様と一緒に調理している。誕生日会や行事食は手作り料理を提供している。	普段は業者からの配食を受けて提供している。週1回の昼食及び週2回のおやつは利用者も一緒に作り、行事食や誕生日ケーキは手作り料理を提供する等、食事を楽しんでもらえるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分チェックを行い体調管理に努めている。食事形態や持ちやすい食器等の工夫をしている。水分ゼリーなども作り提供し水分摂取に確保に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後お茶でうがいをを行い、就寝前には義歯洗浄を行い対応している。自歯のある方は毎食後の歯磨きを促し、歯科衛生士によるチェックやケアの助言をもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表により入所者様の排泄パターンを把握し、定期的なトイレへの声掛けを行い対応している。また、リハビリパンツから布パンツへの移行を試みている。	日中はトイレでの排泄を基本に、排泄チェック表で把握している。個々の排泄パターンや利用者の素振り等により声掛けしている。昼間は布パンツとパット使用で、夜間は転倒予防の為、ポータブルトイレを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	定期的に乳製品を提供して、自然排便への取り組みを実施している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本入浴日は週3回と定めているが、無理強いはせず柔軟に入浴日・時間の変更を行っている。ユニットバスに一人ずつ誘導し、利用者様のできるところは洗っていただき、利用者様のペースで入浴できるよう支援している。	週3回午後を基本に入浴を支援しており、状況により清拭や2人介助の実施や特別養護老人ホームの機械浴を利用することもある。汚染時は陰洗・シャワー浴を実施し、嫌がる場合も無理強いをせずタイミングを見て声かけし、柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のペースで就寝していただき、昼食後はレストタイムを設定している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員が行い、利用者様一人ひとりの内服薬に関して情報共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に応じてホーム独自の行事を行っており、誕生日会・夕涼み会等では、利用者様の嗜好品や食べたいものを一緒に調理し提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>可能な限り戸外への散歩等実施している。</p>	<p>天気の良い日は近隣の散歩をしており、広い庭園での散歩やウッドデッキでの外気浴はできる限り行っている。中庭でお茶をすることもある。コロナの感染症予防の為、他科受診以外の外出はしていないが、5月末にコロナワクチンの2回目接種終了予定であり、その後に本人の希望による外出を検討予定である。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様支援のもと、利用者様の必需品は購入していただきおり、職員による買い物代行も行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様の希望にそって職員が電話をかけ代わり話されたり、また家族からの電話や手紙などの取次を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花を飾ったり、ソファでつくるろげる工夫や季節の飾り物を掲示するなど雰囲気づくりに努めている。	リビングは天井が高く明るい。換気を十分に行い、空気清浄機やエアコンで適度な室内環境に調節している。ウッドデッキに出ると開放感がある。畳部屋があり、冬は囲炉裏で焼き芋を作る楽しみがある。室内は花を活けたり、飾り物で季節の設えをし、利用者がソファ等の好みの場所でくつろげるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者様の能力に応じ、テレビの前のソファでくつろいでいたり、天気の良い日には日向ぼっこや散歩など行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様が自宅で活用していた家具などの持ち込みを、ご家族様へ依頼し対応している。	居室は、ベッド・洗面台・クローゼット・空気清浄機・エアコンが備えている。本人が使い慣れたタンスやソファ・テレビを持ち込み、ぬいぐるみや写真を身近に飾る等、安心して過ごせるような部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	行動制限を行わないよう環境整備を図り対応している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない